

## 第 54 回理事会議事録

1. 日 時：2019 年 3 月 22 日（金）午後 18 時 30 分～20 時 20 分
2. 場 所：東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者：【理事 10 名】 細田博之、鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、  
齋藤陽子、清水康裕、寺本直志、橋本公二、  
古川京司、山田和彦  
【欠席 3 名】 久保公人、ロバート・ゲラー、吉田正  
【監事 2 名】 成田秀則、正村祐一  
【事務局 4 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人管理部長、  
仲村篤志競技会事業部長代行、高野英樹普及事業部長  
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 10 名)

### 4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 53 回理事会議事録の承認について  
議事録案を一部修正の上承認した。

第 2 号議案 2019 年度予算案および事業計画書について

鳩山会長代行より 2019 年度予算案について以下の説明があった。

2019 年度は横浜ブリッジフェスティバルの非開催年度にあたり、開催年度である 2020 年度と合計した 2 年間で收支均衡を目指している。同大会の開催費用が約 1,400 万円であることから、2019 年度予算は 700 万円程度の黒字を目標としている。1 月理事会では 711 万円の黒字予算を提出していたが、その後の人事委員会の結論を反映させたところ人件費で約 180 万円の削減が見られた。さらに、競技会事業、普及事業における微修正を盛り込んだ結果、874 万円の黒字となった。

鳩山会長代行より 2019 年度事業計画書について以下の説明があった。

1 月の理事会で検討し、2 月および 3 月の企画委員会で意見を集めそれらを反映させた。

齋藤人事委員長より 2019 年度の事務局の体制および人件費について報告があった。

検討の結果、経常収益 227,480,000 円、経常費用 218,740,000 円、総額 8,740,000 円の黒字予算となる 2019 年度予算案および 2019 年度事業計画書を承認した。

### 第3号議案 各委員会及び事業部報告

#### 1. 企画委員会

鳩山会長代行より2月13日および3月13日開催の企画委員会について以下の報告があった。

連盟公報のweb化の件は連盟HPの新着情報を引き続き活用していくこととし実施を見送ることとした。

会員、会友の個人情報の取り扱いについては、プライバシーポリシーを連盟HPおよび2019年度HANDBOOKに掲載することとした。

横浜カップの第1ラウンドにおいてスコアの一部が取り込めない現象が発生した件については、原因および対策を検討した。

2019年10月に予定されている消費税率の引き上げへの対応については、5月1日発行の会報の連盟公報および2019年度HANDBOOKに方針を掲載することとしていたが、その文面案が提出された。検討の結果これを承認した。

#### 2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より3月12日開催のセンター協議委員会について報告があった。

消費税の引き上げに対する各センターおよびクラブの対応については、首都圏の各センターの方針が概ね決定された。

センター側出席者から公認料に関する連盟への要望および関連する質問がだされ、1理事として以下の回答を行った。

- ・現在の公認料は約5年経過したが、良い折り合いのところと考えている。普及の取り組みが以前より向上したセンターが見られる。
- ・連盟の努力、コストについては、職員の人数は増えておらず、人件費は減少傾向である。場所代については、削減の努力を長期に渡って重ねてきた。連盟は経費削減で収支均衡を保ってきている。
- ・要望はいつでもいただきたい。いただいたらきちんと検討を行う。

大阪および名古屋の消費税の引き上げに対する対応は事務局より確認することとした。

山田センター協議委員長より、センターからの要望を検討する場合には、センター協議委員会から企画委員会に報告し、両委員会を中心として選抜されたメンバーが理事会に諮りながらセンター側と協議を進める旨提案された。検討の結果これを承認した。

#### 3. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より第52回APBF選手権日本代表の選抜状況について報告があった。ミックスの1チームの代表指名、オープン、ウィメン、ミックス、シニアの各キャプテンの指名を承認した。

ミックス代表

上田哲也、上田真理子、高崎恵、成田秀則、野田裕之、野田祐子  
前田尚志 (NPC)

オープン代表

ロバート・ゲラー (NPC)

ウィメン代表

小池和人 (NPC)

シニア代表

大政哲人 (PC)

4. 競技委員会

寺本競技委員長より3月6日開催の第258回競技委員会について報告があった。

5. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より以下の報告があった。

横浜ブリッジフェスティバルの普及イベントを2月23日、24日に開催し、体験教室は合計約40名、実戦教室は合計約20名が参加した。

春に行われる首都圏センター主催の体験教室、入門講習会の告知広告を朝日新聞(関東)、読売新聞(関東)、毎日新聞(東京のみ)、産経新聞(関東)、西日本新聞(九州)に2月下旬から3月上旬にかけて掲載した。

齋藤普及事業担当理事より世界ユースオープン選手権の選抜状況について報告があった。ジュニア、ヤングスター代表選手、キャプテンの指名、およびヤングスター代表のグレードⅢでの助成を承認した。

ジュニア代表(26歳未満)

今給黎英嗣、遠藤瑛輔、田辺仁士、日野雄之、山本哲太郎、弓削裕要  
三浦裕明 (NPC)

ヤングスター代表

稲見輝志、井上布武、川端須開、鈴木崇史、宋逸寒、滝澤憲  
三浦裕明 (NPC)

6. 競技会事業部

ゲラー競技会事業担当理事不在のため仲村競技会事業部長より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

7. 国際交流事業部

鳩山会長代行より第22回横浜ブリッジフェスティバルの収支報告が行われた。

8. 法人・管理部

寺本法人・管理部担当理事より2月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、および月次収支実績について報告があった。

鳩山会長代行より 2 月 25 日に実施された内閣府公益認定等委員会立入検査について報告があった。

役員就任承諾書については、役員就任承諾書兼確認書に改め、次回の改選時より採用する。

特定費用準備資金については、現在は 2020 年を目標として国際大会開催準備金を積み立てているが、2020 年の開催が具体化していないため、実施時期を変更し 2023 年の APBF 選手権開催を目指す方向で検討する。2018 年度については、積み立てを継続することとした。

寺本法人・管理部担当理事より 2018 年度は高松宮妃癌研究基金に 20 万円の寄付を行いたい旨提案があり、検討の結果これを承認した。

#### 第 4 号議案 その他の議案

##### 1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2019 年 4 月 26 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布資料：第 2 号議案「2019 年度事業計画書」

第 3 号議案「第 258 回競技委員会議事録」

「競技会事業部報告」

「YokohamaCup2019 報告」

平成 31 年 3 月 22 日（2019 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 54 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則

監 事 正村 祐一